



# FULLCAST

「XSSを仕掛けようとするアクセスも発見しましたが、BIG-IP ASMのシグネチャをチューニングすることで防御しました。Webアプリ側で行うよりも迅速な対応が可能です」

株式会社フルキャスト ホールディングス 情報システム部 担当部長 日向野 渉 氏

## マイナンバー収集・管理代行ビジネス立ち上げのため BIG-IP ASMでレイヤ7のセキュリティを確保 他社クラウドサービスよりも安価なWAF導入を実現

登録しているスタッフが仕事を検索したり、応募の為に活用するポータルサイト「キャストポータル」を運営し、1日に1万人を超える人材と仕事のマッチングを行っているフルキャストグループ。短期人材紹介だけでなく、短期雇用に伴って発生する日々の勤怠管理や給与計算の業務を代行する給与計算代行サービスも提供している。最近ではその実績を活かし、新たにマイナンバー収集・管理代行ビジネスも立ち上げ、多くの企業に対して業務支援を行っている。そこで同社はサイトのセキュリティをさらに強化するため、WAFの導入に着手。他社クラウドサービスも含めて検討した結果、最終的にBIG-IP ASMの採用を決定した。最大の理由は低コストで導入・運用できること。導入にあたって活用されたF5のプロフェッショナル サービスもクオリティも高く評価されている。

### 従来の課題

近年では景気回復による人材不足が加速している。また少子高齢化や就業人口の減少傾向も、この問題に拍車をかけている。このような状況の中、利便性の高いサービスによって、短期雇用への根強いニーズに対応し続けているのがフルキャストグループだ。全国に拠点を持ち、企業の多様なニーズに対応するサービスを提供している株式会社フルキャスト、首都圏と関西圏に特化したよりきめ細かいサービスを提供する株式会社トップスポットがあり、それぞれの会社に登録しているスタッフが職種や場所、日時などの希望を登録することで



株式会社フルキャストホールディングス  
情報システム部 担当部長  
日向野 渉 氏

仕事が紹介され、勤務実績や給与明細の確認なども行える「キャストポータル」を運営し、1日に1万人を超える人材と仕事のマッチングを行っている。

「これらのサイト運営を安全に行うため、

これまでセキュリティ機能を継続的に強化し続けてきました」と語るのは、株式会社フルキャストホールディングス 情報システム部 担当部長の日向野 渉氏だ。多数のアクセスを安定的に処理するため、2014年9月にはBIG-IP 2000sを冗長構成で導入、BIG-IP Local Traffic Manager (以下BIG-IP LTM) の機能を活用し、複数のWebサーバへの負荷分散も行っているという。なおBIG-IP 2000sとBIG-IP LTMは、社内で使用する仮想デスクトップ環境でも、2015年4月に導入されている。

さらに、膨大な数の給与計算代行を請け負ってきた実績を活かし、マイナンバー収集・管理代行のビジネスも立ち上げている。

「マイナンバーの管理を行っていることが知られるれば、不正アクセス等を受けるリスクはさらに高まるはず」と日向野氏。それまでのネットワーク構成でも問題は発生していなかったが、新ビジネスの立ち上げに合わせ、さらに強固なセキュリティを確保すべきだと判断したと言う。

### Overview

#### 業種

人材サービス業

#### 課題

- ・マイナンバー収集・管理代行ビジネス立ち上げに伴うセキュリティ向上
- ・導入・運用コストの抑制

#### ソリューション

- ・BIG-IP Application Security Manager (ASM)

#### メリット

- ・BIG-IP ASMでWAFを構成することで、Webサイトに対する外部からのアクセスパターンが可視化でき、XSS等への対応も迅速化できた。
- ・すでに導入していたBIG-IPにライセンスを追加することで、他社クラウドサービスに比べて導入・運用コストを抑えることができた。
- ・F5のプロフェッショナル サービスを活用することで、導入だけでなく運用に必要な技術移転も円滑に行えた。

### Customer Profile

#### 株式会社フルキャスト ホールディングス

1990年9月に株式会社リゾートワールドとして設立。1992年9月に株式会社フルキャストへと商号を変更、2008年10月の純粋持株会社体制導入に伴い、株式会社フルキャストホールディングスとなる。株式会社フルキャストや株式会社トップスポット、株式会社おてつだいネットワークス等のグループ企業を通じて、顧客の案件に応じてカスタマイズされた人材サービスを行う「短期業務支援事業」を展開。コンプライアンスもしっかりと徹底しながら、短期人材サービスのリーディングカンパニーとして、業界を牽引し続けている。

## ソリューション

ここで日向野氏が着目したのが、Web Application Firewall (WAF) の活用である。すでにレイヤ2～3のセキュリティ機能は実装し、ネットワークやWebアプリケーションレイヤの脆弱性診断、検査も定期的の実施していたが、さらにアプリケーションレイヤの新たな攻撃に対し迅速に対応が必要になると考えた。WAFであれば、クロスサイトスクリプティング (XSS) や、レイヤ7への複雑なDDoS攻撃はもとより細かなチューニングやシグネチャの更新で新たな様々な攻撃を防御しやすくなるからだ。

WAFの実現方法としてはまず、F5以外のクラウドWAFを検討。実際に発注をかけるところまでいったが、その直後に解約することになったと振り返る。理由はクラウドWAFで使用するSSL証明書は、クラウドWAF側で冗長構成を取るため従来の2倍の数の証明書が必要になり、そのコストが予想以上に高かったからだと言う。「証明書のコストはクラウドWAF全体の約半分を占めていました」。さらにサイト追加やトラフィック増加に伴いコストが上がっていく事も懸念点でした。

次に検討したのがBIG-IP Application Security Manager (BIG-IP ASM) だった。監視業務をDell SecureWorksにアウトソースすることを前提に、クラウドWAFとのコスト比較を実施。その結果、コス

トを大幅に削減できることが判明、ASMの採用が決定するのである。

## メリット

### APIによりエンジニア自身でのLB作成が実現

ASMの導入にあたっては、F5のプロフェッショナルサービス (導入支援サービス) を活用。その理由は、開発メーカーならではの知識やスキルを活用することで導入期間を大幅に短縮でき、他社のサービスに比べてコストパフォーマンスが高いからだ、日向野氏は説明する。

「ASMの各アラートがどのような意味を持つのかの説明も丁寧で、こちらから持ちかけた相談にも快く対応してくれました。また導入完了後は設定方法に関する簡易マニュアルも作成し提供していただきました。監視とレポートはDell SecureWorksに任せられていますが、設定変更は自社内で行っているため、このような対応は大変助かりました」(日向野氏)。

### アクセスパターンを可視化、XSS等への対応も容易に

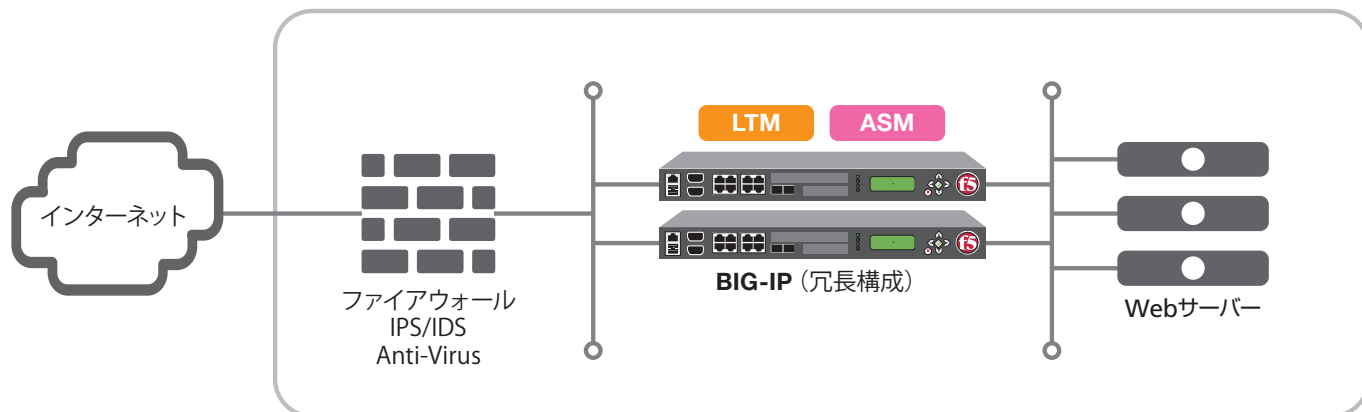
BIG-IP ASMの運用を開始したのは2015年10月。取材時点ではまだ2ヶ月しか経過していなかったが、

これまで見えていなかったことが把握できるようになった。また攻撃への対応も迅速化されている。

「私どもはグローバル展開を行っていないにも関わらず、海外から様々なアクセスがあることがわかりました。その中にはXSSを仕掛けようとするものもあったため、BIG-IP ASMのシグネチャをチューニングすることで防御しました。Webアプリ側で対応するのは開発チームとのやり取りが必要で時間がかかりますが、BIG-IP ASMのシグニチャ変更ならすぐには実施できます」(日向野氏)。

### 外部からの攻撃に対する抑止力になることにも期待

最近では中小企業が狙われるケースが多いといった記事を見ます。攻撃者としてはセキュリティ対策を十分に行っている大企業よりも対策が甘い中小企業のほうが攻撃しやすいということは言えるかと思いますが、BIG-IP ASMによるセキュリティ強化が、「弊社への攻撃は難しい」という心理的な牽制をもたらし、抑止力につながることも期待していると日向野氏は言う。今後はSSLの活用領域を拡大するため、SSLインスペクションの利用も視野に入っている。「できることならできるだけ多くのセキュリティ機能をBIG-IPに集約したいと考えています。F5には今後、より多岐にわたる機能をサポートしていただきたいですね」。



フルキャスト様データセンタ



## F5ネットワークスジャパン合同会社

東京本社  
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階  
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201  
<http://f5.com/jp>

西日本本社  
〒530-0012 大阪市北区芝田 1-1-4 阪急ターミナルビル 16 階  
TEL 06-7222-3731 FAX 06-7222-3838